

授業改善書

科目名	自然地理学
担当者	亀井啓一郎

授業の概要

授業ではまず自然環境と環境論について講義した。そのあと、地球の大きさとその表し方、世界の大陸や気候、海水の流れ、日本の山と平野、河川、気候、季節感などについて講義を行った。地域を見る、地域を知るということを念頭に置き、授業を進めた。

本科目は、中学校社会科および高等学校地理歴史科の教職免許の取得のための科目にもなっている。そのため、教職に就いた場合に必要とされる知識や教養を身に付けることもこの授業の目的のひとつとして、授業を進めた。

授業の問題点

私語をする履修者はおらず、快適に授業を進めることが出来た。また全般的に出席率も良かった。その一方で、居眠りをしてしまう履修者も見られた。難解な用語ばかりを用いて授業を進めているわけではないが、基礎的な知識が不足している学生も少なからずいた。授業の難易度は決して高いものではないが、基礎的な地理の知識が不足している者も少なからず見受けられた。

学生の授業満足度

授業は、基本的にはパソコンを用いてパワーポイントで進めた。スクリーンに映した画面をただノートに写すだけではなく、地図帳や資料、写真を見せながら授業を進めるようにした。パワーポイントのスライドは見て理解しやすいようにまとめ、学生がノートに写しやすいよう工夫した。

学生にとって新たな知見を得られるような授業構成を心がけた。

授業改善の課題と方策

一方的に話を進める講義形式だけでなく、作業や簡単な実習を伴うような授業構成も検討したい。

その他